



boba
Wrap

ボバラップ説明書

はじめに

ボバラップでの抱っこは驚くほど心地よく快適ですが、あなたにも赤ちゃんにも新しい経験だということを忘れないでください。

はじめて抱っこ紐を使用するときは、赤ちゃんのお腹が満たされていて、疲れすぎないように注意してください。鏡の前で練習をしてみましょう。

赤ちゃんがぐずり始めたら、深呼吸をして部屋の中を少し歩き、二人の準備が整うまで待ちましょう。

肩から身体の前でクロスしている生地は、身体にぴったりと着ていることが必要で、生地をつまんで離すと胸にはね返ります。赤ちゃんを中に入れるときには肩からの生地を身体から離すように引っ張らなくてはなりません。赤ちゃんが装着者の体にぴったりと密着して、頭が胸の高い位置にあり、ちょうど腕で抱っこしているかのように普通に立てることが正しい姿勢です。

目次

はじめに、目次	2	お手入れ方法	7
参考動画・web ページ一覧	3	ボバラップの付け方 / 抱っこの準備	8
安全に関する注意事項	4	赤ちゃんを包む抱っこの方法	10
安全のためのガイドライン	5	安全で快適な抱っこのためのヒントとコツ	11



Boba 公式ページ <https://boba.jp/>



P8

ボバラップ装着方法

<https://youtu.be/4-RzYXNRxVs>



P11

赤ちゃんの姿勢の整え方

<https://youtu.be/mUvQ4HSNQUE>



P10

ボバラップに赤ちゃんを包む抱っこ方法

<https://youtu.be/awggBvUP7mY>



ボバラップからの赤ちゃんの出し方

<https://www.youtube.com/shorts/9v3znjKJ5Ik>



授乳の仕方

<https://www.youtube.com/shorts/XDIEDm7YCrI>



P11

丸みのある姿勢（骨盤タックについて）

<https://boba.jp/pelvictuck/>

安全に関する注意事項

重要

この説明書は大切に保管し、いつでも参照できるようにしてください。
ご使用前にこの安全に関する注意事項をよくお読みください。

本製品は下記の安全規格に適合しています。

ASTM F2907-19/CEN/TR 16512:2015

モデル ボバラップベビーキャリア

この抱っこ紐は、体重 3,2 ~ 16kg のお子様のみご使用ください。

製造元 BOBA, Inc - PO Box 3808 - Boulder, CO 80307 - USA

- 抱っこ紐を活用することでハンズフリーになり、他のことができるようになりますが、常に積極的にお子様に注意を払わなければなりません。安全に関するガイドラインを参考に、説明書に従って慎重に使用してください。
- 抱っこ紐は、ランニング、サイクリング、水泳、スキーなど、衝撃や転倒の可能性が高い動きの激しいスポーツ活動には適していません。
- ボバラップで赤ちゃんを抱っこするときは、常識と最善の判断で赤ちゃんの安全と安心を確保してください。この抱っこ紐は、筋肉、骨格、背中、脚など、安全な使用を妨げる可能性がある身体的不自由のある人が使用しないでください。
- アルコールまたは薬の影響下にある場合は、抱っこ紐を使用しないでください。運動中、眠気、病状などにより、バランスや運動機能が低下している場合は、やわらかな抱っこ紐を絶対に使用しないでください。
- 常にお子様の様子を観察し、赤ちゃんの顔が見えること、口と鼻が塞がれていないことを確認してください。赤ちゃんの鼻は常に地面と平行かそれより上を向いていることが必要です。
- 頻繁に赤ちゃんの様子を確認してください。定期的に赤ちゃんの姿勢を整えて直してください。
- ボバラップは車や自転車のシートの安全装置ではありません。自動車の運転中や同乗中は、絶対に抱っこ紐を着用しないでください。
- 授乳後は、赤ちゃんを直立させて抱っこ紐を締め直してください。
- やわらかな素材で、窒息の危険性のあるものを抱っこ紐の中に入れてください。
- 赤ちゃんの年齢と体重に合った抱っこ紐のみを使用してください。落下による危険を防止するために、お子さまが抱っこ紐にしっかりと固定されていることを確認してください。足の位置など、お子様を製品に正しく装着してください。未熟児、呼吸器に問題のある赤ちゃん、4ヶ月未満の赤ちゃんは、窒息の危険性が高くなります。

- 赤ちゃんを外部環境から保護するようにしてください。腕、足、頭には日焼け止めが必要な場合があります。赤ちゃんには天候に適した服を着せ、熱中症となるような環境での使用は避けてください。
- 抱っこ紐に摩耗や損傷の兆候がないか、定期的に点検してください。縫い目が破れていないか、生地が破れていないかを確認してください。見つかった場合は、キャリアの使用を中止してください。ボバラップは基本的に長い一枚の布であり、バックルなどの破損や外れる可能性のある付属品はありません。したがって、安全上の最大の懸念は、ラップを十分にきつく結んでいないこと、または間違った結び方をしていることです。
- また、お子様のあごが胸に当たらないようにしてください。呼吸が制限され、窒息する恐れがあります。
- 未熟児、低出生体重児、持病のあるお子様は、本製品を使用する前に医療従事者のアドバイスを受けてください。
- 前かがみ、横向きになるとときには注意が必要です。背中を守るために、必ずひざを曲げてください。
- 装着者の動きやお子様の動きが、装着者のバランスに影響を与えることがあります。
- お子様が活発に動くようになると、抱っこ紐から転落する危険性が高くなることに注意してください。ボバラップは、内向き前抱っこ専用設計されています。絶対に赤ちゃんを外向き（前向き）で抱っこしないでください。
- ボバラップには、一度に複数の赤ちゃんを入れしないでください。
- 本製品は、本製品が意図する人数のお子様のみご使用ください。
- 一度に複数の抱っこ紐を装着しないでください。
- 電気製品を操作しない、熱源に近づかない、赤ちゃんを抱っこしたまま調理をしない、熱い飲み物を飲まないなど、家庭環境での危険性に注意してください。
- 赤ちゃんを抱っこしたまま化学物質に触れる可能性のある活動には従事しないでください。
- 株式会社ボバ、及び総輸入代理店株式会社スマートトレーディングは、抱っこ紐の不適切な使用について責任を負いません。この抱っこ紐を使用しないときは、お子様の手の届かないところに保管してください。

安全のためのガイドライン

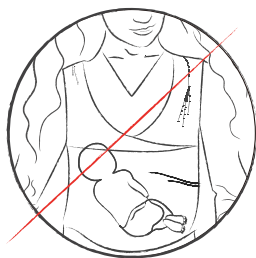
ベビーキャリア自体は安全器具ではなく、抱っこ補助具です。
抱っこをするあなたが赤ちゃんの安全に責任を持ってあげてください。

以下のガイドラインをお読みいただき、赤ちゃんが安全に抱っこされていることを確認して下さい。



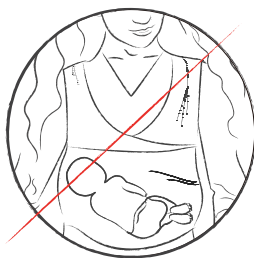
正しい位置

あごが上を向いて顔が確認できる、
口と鼻がふさがれていない



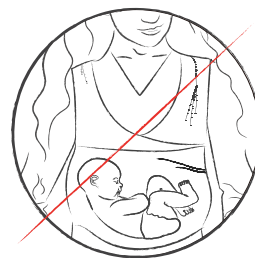
誤った位置

顔がふさがれている状態



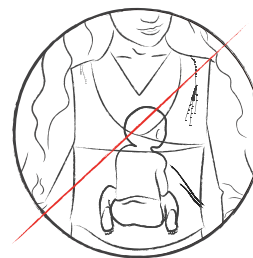
誤った位置

低すぎる状態



誤った位置

背中が丸まって顔と
あごがくっついた状態



誤った位置

顔が着用者の体に強く
密着した状態

- 常に赤ちゃんの気道が確保され、呼吸が出来ていることを確認してください。ベビーキャリアは両手が空き、いろいろなことができる便利な補助具ですが赤ちゃんのことを常に気にかけ、注意を払ってください。どのベビーキャリアも赤ちゃんの気道の確保を保証することはできません。
- 赤ちゃんのあごが埋まってしまったり、頭が胸に押し付けられたりするようなことは決してしないでください。このようなポジションは赤ちゃんの呼吸を妨げます。このルールはベビーキャリアの使用の有無、チャイルドシートの使用、その他補助具などに関わらず全ての抱っこやおんぶ、装着に関して適用されます。特に新生児は自分自身で気道を確保する筋力がまだないのでこのような状況では窒息してしまいます。
- 赤ちゃんの頭や顔が布で完全に覆われてしまうことの無いようにしてください。完全に覆われていると簡単に、頻繁に赤ちゃんの様子を見ることができません。
- ジョギングやランニング、その他激しい運動など赤ちゃんが強く揺さぶられたり、上下に揺れたりするような運動は決してしないでください。このような衝撃は赤ちゃんの首、背骨や脳に損傷を与えることがあります。
- ベビーキャリアを使用しながらの車の運転や自転車の走行は決してしないでください。ベビーキャリアはチャイルドシートや自転車の幼児用シートのような防護能力はありません。

- 赤ちゃんの月齢（年齢）や体重に合わせたベビーキャリアのご使用をお願いいたします。
- 定期的にベビーキャリアの点検をしてください。生地や縫い目、バックルや調節具などの確認をお願いいたします。毎回使う前に確認いただくようお願いいたします。もし、キャリアに問題があるようであれば使用を中止してください。
- 落下の危険性があるような活動は避けてください。原則として、妊娠中にはしては行けないと思われる活動は、ベビーキャリアに赤ちゃんを抱っこやおんぶをしながらするべきではありません。むしろ、妊娠中の方の赤ちゃんはお母さんの体などで守られていますが、ベビーキャリアは基本的に保護能力はありません。はしごを登ったり、馬に乗ったり、スケートやスキーなどは落下の危険性がとても高い活動です。また、ボーリング、セーリング、雪や氷の上など滑りやすい場所によっても危険性が高まります。
- なんらかの防護器具を使用しなければいけないような活動を赤ちゃんを抱っこやおんぶしながらするのは避けてください。ベビーキャリアは赤ちゃんの目を守ったり、落ちたり飛んできたりするもの、煙やホコリなどから守ってはくれません。

- 赤ちゃんの手が届く範囲を確認して下さい。ベビーキャリアの中に誤飲をしたり、引っかかったり、突き刺さったりする小さなおもちゃや紐などをいれないでください。

- 抱っこしながら熱いものを飲食しないで下さい。
- 前かがみになったり、しゃがんだりする際には赤ちゃんを腕で支えてください。しゃがむときは必ず膝を曲げてください。

ベビーキャリアを調節したり、赤ちゃんの位置を調整したりするときに、下記の点にご注目ください。

- 腕で抱っこしている時と同じように、赤ちゃんは胸の位置で常にあなたの体に密着しているはずですが、ベビーキャリアで抱っこするときも、背中や腰が痛くはありません。もし、どこかに痛みがあるようであれば、赤ちゃんを低い位置で抱っこしすぎか、ベルトを締め過ぎている、あるいはどこかの生地がねじれている可能性があります。
- 赤ちゃんが座るキャリアの部分はおしりだけでなく、赤ちゃんの膝裏までしっかりと覆えているはずですが、

- 縦抱きの際には、赤ちゃんの膝がおしりの位置より高い位置になるようにしてください。これにより、股関節窩、骨盤、背骨が自然な丸いポジションに収まります。赤ちゃんの足をお尻の下に入れないでください。足が圧迫され、血流が妨げられたり、神経が圧迫されたりします。
- キャリアで抱っこしながら授乳した後は、再度調節をして体が密着するようにしてください。常におでこにキスできるぐらい近いのが理想です。

【窒息および落下の危険性】

警告

窒息の危険性

4ヶ月未満の赤ちゃんは、この製品の中で顔を体に強く押し付けられると窒息することがあります。窒息の危険性が最も高いのは、未熟児で生まれた赤ちゃんや呼吸器に問題のある赤ちゃんです。

- 赤ちゃんの顔面が覆われていないこと、はっきりと見えること、抱っこする人の体から常に離れていることを頻繁に確認してください。
- 赤ちゃんが丸くなり、あごが胸の上や近くにくるような姿勢にならないように注意してください。このような姿勢は、鼻や口を覆っていない場合でも、呼吸の妨げになることがあります。
- 抱っこ紐で授乳する場合は、授乳後、必ず赤ちゃんの顔が体に当たらないように姿勢をかえてください。

警告

落下の危険性

傾いたり、前かがみになったり、つまずいたりすると、赤ちゃんが落下する恐れがあります。移動中は片手を離さないでください。

お手入れについて

- ボバラップは、中性洗剤を使用し、洗濯機で低温の設定で洗うことができます。タンブル乾燥は弱で行ってください。漂白はしないでください。適切なお手入れ方法を守らないと、色あせや色抜けの原因となることがあります。



ポバラップのつけ方 抱っこ準備



ポバラップを広げて、ロゴのラベルを胸の高さにします。ラップの上側をつかんで生地を両端を背中へ回します。



両方の布を背中でクロスさせます。布を伸ばしながら両側をそれぞれ肩にかけます。生地を広げたままおこなうと生地がねじれません。



両方の布を手につかみ、ロゴのラベルがある部分の生地の内側に入れ込みます。



▶ ポバラップ装着方法の
動画はこちら

4



引っ張って下げます。ロゴラベルがある部分の布は胸の高さに位置して、身体にぴったりとついているように整えてください。

5



2つの布を交差させて腰に沿わせて背中に持っていきます。布は胸の高い位置で交差していることを確認してください。胸骨が良い高さの基準です。赤ちゃんが入るための余分なスペースを残す必要はありません。

6



背中でラップを交差させ、十分な生地がある場合は生地を前に持っていきます。前、後、横、結びやすい位置で固結び（2度結ぶ）に結んでください。

Notice

布を交差したときにできる「X」の位置が高いほど、赤ちゃんを高い位置で抱っこできます。

赤ちゃんを包む抱っこ方法 3.2kg - 16kg

1



赤ちゃんをしっかり抱き、肩から胸にかかっている自分に一番近い布を引っ張り、その中に片方の足を入れます。

2



生地を広げて、赤ちゃんのおしり、背中、肩を広く覆います。覆ってあげる部分が広いほど、赤ちゃんは心地が良くなります。

3



続いて反対側の生地の中に赤ちゃんの足を入れて、先ほどと同じように生地を引っ張って広げます。両側から、生地で赤ちゃんのひざからひざまでを支えるように広げます。



▶ 赤ちゃんを包む抱っこ方法
動画はこちら

4



ロゴがついている部分の布を赤ちゃんの下から引き上げて、赤ちゃんのおしりと背中を覆います。新生児では、3枚の生地すべてが首の後ろで重なるようにします。赤ちゃんが頭と首を十分にコントロールできるようになるまで、頭を支えてください。

重 要

赤ちゃんはかならず、着用者に対面して直立した完全に垂直な姿勢で抱かれなくてはなりません（揺りかご抱きやその他の水平位置は絶対に避けてください。赤ちゃんを外向きにしないでください）。赤ちゃんの鼻は、常に床と平行かそれよりも高くなければなりません。赤ちゃんが眠っているときには、鼻はより高く向けます。



M字開脚

ラップの生地が赤ちゃんのおしりと太ももを支え、ひざの裏側まで届くようにすると理想的なサポートができます。

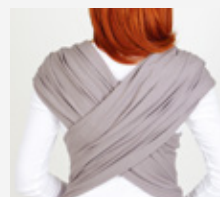


丸みのある姿勢 P3 動画有

抱っこ紐に赤ちゃんが入ったら、やさしく赤ちゃんのふくらはぎをすくい上げて骨盤を整えてひざをおしり以上の高さにします。背骨は自然で人間工学的なゆるやかに丸みのある姿勢になります。



2枚の布を交差させて赤ちゃんを支える「X」を作るときに、その位置は身体の中央の胸骨の上で互いに交差させなければなりません。「X」が高いほど、赤ちゃんを高い位置で抱っこできます。（P9 5 参照）



赤ちゃんを抱っこして背中が痛いときには注意してください。もしもそうなるのであれば、低すぎる位置で抱っこしているか、きつすぎるか、生地がねじれている可能性があります。



赤ちゃんが眠ったら、赤ちゃんの頭をストレッチ性のあるコットンの布の下に入れることができます。布が赤ちゃんの顔を覆っていないことと気道が塞がれていないことを確認してください。

品名	ボバラップ			保証期間	1 年間
お買い上げ日	年	月	日		
お客様	ご住所				
	ご氏名				
販売店					

この度はボバラップをお買い上げいただきありがとうございます。
 この商品は保証付です。保証はご購入後1年間となっております。
 お買い上げ日がわかるレシートや明細書や運送会社の送り状などを
 保管しておいてください。

生物賠償責任保険について

当社は本製品を安心してお使い頂けるように、品質については細心の配慮を致しております。この取り扱い説明書に従って正しく取り付け、正しい方法でお使いになったにも関わらず、製品の欠陥により、お客様の身体に損害をおかけした場合は、その損害を補填するために、保険会社と「生物賠償責任保険」の契約を結んでおります。事故が発生した場合はただちに当社までご連絡ください。
 ≪ご注意≫この制度は、傷害などの身体的な損害についてのみ補填するもので、製品の品質について保証するものではありません。

保証書

製品が取り扱い説明書に従って正しく使用された範囲において、欠陥製品についてはご購入より12ヶ月間保証いたします。抱っこひもをご使用になる前に本説明書をよく読み、正しくお使いください。本説明書は今後の参考として残しておいてください。

≪初期不良について≫ 商品到着後15日以内で、使用の場合は初期不良とし対応いたします。

- ・初期不良対応期間はご購入日より1年間です。ご連絡があった場合対応させていただきます。
- ・不良により新品との交換は、購入直した状態にして頂き、付属品も揃った状態でのご返送が必要となります。

保証規定

- ・保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- ・修理の際は必ず保証書をご提示ください。ご提示の無い場合はどんな場合でも有料となります。

<次の場合は保証対象外となり、保証期間でも有料となります。>

- ・使用上の誤り、または乱用による損傷
- ・ご使用による布部分の汚れや破れ、色落ち及び色移り、自然摩耗、自然消耗。
- ・天災、火災による故障及び損傷。
- ・不当な修理、改造、誤ったお手入れ方法などによる損傷。
- ・製品のオークション、転売、リサイクルショップ等での購入品は修理、交換の対象外となります。購入元への返品を願います。
- ・この保証は最初の購入者であるお客様ご本人にのみ適用され、お客様が製品を転売された第三者には適用されません。
- ・保証対象外の修理品の運賃などの費用はお客様にてご負担願います。
- ・保証書は再発行致しません。大切に保管してください。
- ・レシート、納品書での購入確認ができない場合又は正規ルートからの購入品以外は初期不良、製品の不具合に関わらず修理、交換をお断りさせていただく場合がございます。
- ・※パッケージ、説明書に「お問合せ先：(株) スマートトレーディング」とありますが上記購入者には適用外となります。
- ・保障書は日本国内においてのみ有効です。
- ・レシートや明細書や送り状、もしくは販売店での記入でお買い上げ日を確認できることが必要です。